

| | | | |
|----------------|---|-------|--------|
| クラス番号 | 606 | 担当教員名 | 山田 壮志郎 |
| テーマ | 貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える | | |
| 著書・論文 研究課題等 | <p>研究課題：ホームレス問題を中心とする貧困問題の実態分析／貧困問題を解消しうる社会保障と りわけ公的扶助制度のあり方</p> <p>著 書：山田壮志郎著『無料低額宿泊所の研究－貧困ビジネスから社会福祉事業へ』明石書店、2016年、山田壮志郎編著『Q&A生活保護利用ガイド－健康で文化的に生き抜くために』明石書店、2013年／山田壮志郎『ホームレス支援における就労と福祉』明石書店、2009年</p> | | |

ゼミナール概要

キーワード：貧困、ホームレス問題、社会保障、生活保護、福祉事務所

【目的】

今日、日本において貧困問題が深刻化しています。生活保護受給者は増え続け、自殺者も年間3万人を超え続けてきました。貧困問題の解消は、歴史的に見ても社会保障・社会福祉の原点であり、その最終的なセーフティネットと位置付けられているのが公的扶助制度です。まさに公的扶助の出番ともいえる時代状況にありますが、現実の公的扶助制度は貧困問題の解消に必ずしも十分貢献しているとは言えません。

本ゼミでは、①現代日本における貧困問題がどのような現状にあるのかを学ぶこと、②そうした貧困問題を解消していくためにはどのような社会保障制度（とりわけ公的扶助制度）が求められているのかを考えることを目的とします。

貧困問題といっても多様な問題がありますが、本ゼミではホームレス問題を切り口にします。また、社会保障にも多様な領域がありますが、本ゼミでは生活保護制度を切り口にします。その上で、ゼミ生の個々の関心に基づき「貧困問題の視点からみた社会保障のあり方」を深め、4年次の卒業論文にまとめます。

【学習目標】

卒業後どのような分野で働くにせよ、社会福祉の専門家となるためには（あるいはそうでなくても）、貧困問題へのまなざしは大切です。一人ひとりのゼミ生が、自分なりの視点で貧困問題に関心を持つ力を身につけられるようになることを目指します。

【方法・計画】

本ゼミでは、「貧困問題の視点から社会保障のあり方を考える」ために、フィールドワークと文献講読を2本柱として学習を進めます。

3年次前期は、貧困問題の現状を学びます。フィールドワークとしては、日本最大の日雇労働者の街である大阪・釜ヶ崎地区への視察、名古屋地域でのホームレス支援活動への参加を計画しています。また、文献講読としては、ゼミ生の関心に基づき、貧困問題の現状に関するテキストや論文を読んで学習します。これらの学習を通じて、ゼミ生一人ひとりの研究テーマを模索することが前期の目標です。

3年次後期は、それぞれの研究テーマに基づいた卒業研究の計画を立てます。また、ゼミ全体での文献学習やフィールドワークも行いますが、具体的な内容はゼミ生の研究テーマや関心に合わせて計画します。3年次の春休みには、卒論執筆に向けた春合宿を実施します。

4年次は、卒業論文の執筆作業を進め、ゼミ内で発表して意見交換することがメインです。また、社会福祉士の国家試験受験対策学習もサブ的に行います。「社会保障論」と「公的扶助論」で国家試験6割を取ることは、国試を受験するか否かにかかわらず山田ゼミ生のスタンダードであり、ゼミ全体で学習を進めます。

担当教員からのメッセージ



一緒に楽しいゼミを作りましょう。ゼミは、学生の主体的参加が不可欠です。遅刻・欠席をしない人、積極的に発言できる人、意欲を持って学べる人を希望します。

エントリーシートには、①貧困問題の中でも特に関心のあるテーマとその理由、②現段階での希望進路とその理由の2点を含めて記載してください。